

令和8年度

宮崎大学大学院 医学獣医学総合研究科

学生募集要項

医科学獣医科学専攻
(修士課程)

医学獣医学専攻
(博士課程)

《目 次》

医科学獣医科学専攻（修士課程）

宮崎大学大学院 医学獣医学総合研究科 医科学獣医科学専攻（修士課程）	
アドミッション・ポリシー	1

社会人学生に対する修学上の配慮	3
-----------------	---

令和8年度学生募集要項修士課程（医科学獣医科学専攻）

1. 入試日程	4
2. 募集人員	4
3. 医科学獣医科学専攻の概要	4
4. 出願資格	4
5. 出願資格認定	5
6. 出願手続及び方法	6
7. 出願書類等提出先及び照会先	10
8. 入学者選抜方法	10
9. 合格者の発表及び通知	10
10. 入学手続	11

医科学獣医科学専攻（修士課程）案内

1. 修業年限	12
2. 履修コース	12
3. 各所属講座分野等の主たる研究内容及び代表教員	13
(1) 生命科学研究者育成コース	13
(2) 高度医療関連技師・サービスイノベーション人材養成コース	17
(3) 生命倫理コーディネーターコース	17
4. 教育課程等の概要	18
5. 履修方法及び修了要件	22

医学獣医学専攻（博士課程）

宮崎大学大学院 医学獣医学総合研究科 医学獣医学専攻（博士課程）	
アドミッション・ポリシー	23

社会人学生に対する修学上の配慮	25
国費外国人留学生・政府派遣留学生秋季入学(10月入学)について	25

令和8年度学生募集要項博士課程（医学獣医学専攻）

1. 入試日程	2 6
2. 募集人員	2 6
3. 医学獣医学専攻の概要	2 6
4. 出願資格	2 6
5. 出願資格認定	2 8
6. 出願手続及び方法	2 9
7. 出願書類等提出先及び照会先	3 2
8. 入学者選抜方法	3 2
9. 合格者の発表及び通知	3 3
10. 入学手続	3 3

医学獣医学専攻（博士課程）案内

1. 修業年限	3 5
2. 履修コース	3 5
3. 各所属講座分野等の主たる研究内容及び代表教員	3 6
(1) 高度臨床医育成コース	3 6
(2) 高度獣医師育成コース	3 7
(3) 研究者育成コース	3 8
4. 教育課程等の概要	4 3
5. 履修方法及び学位授与	4 8

共通事項

1. 障がい等のある入学志願者の事前相談	4 9
2. 個人情報取扱いについて	5 0
3. インターネットによる入試案内	5 0
4. 入学料・授業料の免除及び徴収猶予	5 1
5. 奨学金制度	5 2
6. 在学中の保険制度	5 2
7. 学生寄宿舍への入居	5 2

宮崎大学医学部案内図及び交通案内	5 3
------------------	-----

宮崎大学大学院 医学獣医学総合研究科

医科学獣医科学専攻（修士課程）アドミッション・ポリシー

1. 教育理念（教育理念・目標、育成する人材像）

本専攻の使命は、生命科学の発展と社会の福祉の向上に寄与することです。各コースでは、以下を備えた人材を育成します。

1. 生命科学研究者育成コース

医学・獣医学領域の生命科学研究者や教育者として活躍することができる人材を養成する。また、畜産関係者への教育により、修士修了後に、医学・獣医学の知識を持ち、科学的な思考で人獣共通感染症や口蹄疫などの感染症に対応し啓発活動ができる人材を育成する。

2. 高度医療関連技師・サービスイノベーション人材養成コース

合理的、科学的な思考能力を有し、より高度で先進的な医療支援に携わることができる人材、また、該当医療支援領域における後進の教育・指導に当たることができる人材を養成する。

3. 生命倫理コーディネーターコース

最新の医事関連法や省庁の倫理指針、関連諸学会の倫理ガイドライン等に精通し、それらを迅速に研究の現場、臨床の現場へフィードバックするための知識と能力を身に付けた人材を養成する。

2. 入学者受け入れ方針（求める人材像）

本専攻は、医学と獣医学を融合した高度な研究活動を実践している本研究科博士課程への進学を視野に入れた教育研究を行うものであり、また、地域社会の要請に応えうる人材の輩出を考慮した教育研究を目指すものです。そして、本専攻での修学は、医学・獣医学分野及び医療社会学分野の研究と教育、あるいは高度な診療支援に携われる人材の養成を主眼としています。

したがって、本専攻では、次のような人材を求めています。

1. 生命科学研究者育成コース

将来、医学・獣医学領域の生命科学研究者としての道を志す農学、薬学（4年制）、理学、工学などの自然科学系学部卒業生、医療関連企業等で働く社会人及び畜産関係者。あるいは、社会的側面から医学・獣医学領域生命科学の課題や医療に関する研究を志す人文社会科学系学部卒業生又は海外において6年制未満の課程を卒業した獣医学士。

2. 高度医療関連技師・サービスイノベーション人材養成コース

医療系専門学校や4年制大学学部を卒業後、専門職業人として医療現場で医療支援の実務に携わっている社会人。あるいは、将来、医療支援の実務に携わりたいと考えている4年制大学学部卒業生。

3. 生命倫理コーディネーターコース

医療・福祉系の学部卒業生、農学、工学などの自然科学系学部卒業生、心理学、社会学、教育学、哲学、法学などの人文社会科学系学部卒業生など、幅広いバックグラウンドを持つ学部卒業生、及び臨床心理士や医療・看護・福祉関連の資格を有し実務経験と問題意識のある社会人。

3. 入学者選抜の基本方針

1. 求める人材像に沿って、受験者のアカデミックバックグラウンドやキャリアを参考にしつつ、受験者が希望する研究テーマや目標、本修士課程修了後に目指すもの等を考慮し、総合的に選抜します。
2. 客観的で透明性のある方法によって、公平に選抜します。

〔選抜区分による選抜方法及び評価の観点〕

上記の〔入学者受け入れ方針（求める人材像）〕で示す能力を有する人を多面的・総合的に評価するため、以下の方法により選抜します。

① 一般選抜（社会人選抜を含む）

入学者の選抜は、口述試験及び書類審査の結果を総合的に判断して行います。口述試験では、主として専門領域の知識・技能、研究への意欲、研究分野への関心などを評価します。書類審査では、志望動機、表現力などを評価します。

② 外国人留学生特別選抜

入学者の選抜は、口述試験及び書類審査の結果を総合的に判断して行います。口述試験では、主として専門領域の知識・技能、研究への意欲、研究分野への関心、語学力などを評価します。書類審査では、志望動機、表現力などを評価します。

社会人学生に対する修学上の配慮

昼夜開講による夜間履修について

本研究科においては、大学院設置基準第14条「教育方法の特例」を適用し、有職者が離職することなく修学することが可能となるよう、昼夜開講します。

なお、受講時間及び研究時間は指導教員との協議の上、設定します。

長期履修学生制度について

この制度は、学生が職業を有している等の事情により、標準修業年限（修士課程2年）を超えて一定の期間にわたり計画的に教育課程を履修し、修了することができる制度です。

希望される場合は、授業料を納入する前に長期履修生としての申請手続きをすることになっています。授業料納入後の申請は認められませんので、注意してください。

上記の詳細（メリット等）は下記ホームページアドレスでご覧ください。

<https://www.miyazaki-u.ac.jp/ijudaigakuin/>

1. 入試日程

出 願 期 間	令和7年 8月18日 (月) ～ 令和7年 8月22日 (金)
試 験 日	令和7年 9月11日 (木)
合 格 発 表	令和7年 10月10日 (金)

合格発表後、入学定員に満たない場合は、欠員補充第2次募集を行うことがあります。
この場合、詳細については宮崎大学ホームページを通じて公表します。

医科学獣医科学専攻 10人 (含む外国人留学生特別選抜)

医科学獣医科学専攻 (Master's Course for Medical and Veterinary Sciences)では、医学と獣医学が連携・融合することにより、生命科学に関する広範な知識に基づいた総合的判断力と研究能力を備え、技術・知識基盤社会の形成に資する研究者及び教育者、また、高度な研究マインドに裏打ちされた質の高い医療関連技師や研究者及び臨床倫理コンサルタントの養成を目指します。このような人材を養成することにより、人類の健康と福祉の向上に貢献する人材と地域の医療や産業に貢献できる人材の養成を目指しています。

また、博士課程とも協働して、医学と獣医学が連携・融合した総合的な教育研究を行い、地域の要請に応えます。

一般選抜（社会人選抜を含む）

- (1) 学校教育法第83条に定める大学を卒業した者及び令和8年3月までに卒業見込みの者
- (2) 学校教育法第104条第7項の規定により学士の学位を授与された者又は令和8年3月までに学士の学位を授与される見込みの者
- (3) 外国において、学校教育における16年の課程を修了した者及び令和8年3月までに修了見込みの者
- (4) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者及び令和8年3月までに修了見込みの者

- (5) 専修学校の専門課程（4年課程以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者及び令和8年3月修了見込みの者
- (6) 文部科学大臣の指定した者（昭和28年2月7日文部省告示第5号）
- (7) 大学に3年以上在学し、又は外国において学校教育における15年の課程を修了し、本研究科が、所定の単位を優れた成績をもって修得したものとして認めた者
- (8) 我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置づけられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者及び令和8年3月までに修了見込みの者
- (9) 外国の大学その他の外国の学校（その教育研究活動等の総合的な状況について、当該外国の政府又は関係機関の認証を受けた者による評価を受けたもの又はこれに準ずるものとして文部科学大臣が別に指定するものに限る。）において、修業年限が3年以上である課程を修了すること（当該外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該課程を修了すること及び当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって前号の指定を受けたものにおいて課程を修了することを含む。）により、学士の学位に相当する学位を授与された者
- (10) 学校教育法第102条第2項の規定により本研究科以外の大学院に入学した者であって、本研究科において、大学院における教育を受けるにふさわしい学力があると認めた者
- (11) 本研究科が、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、令和8年3月31日までに22歳に達する者

外国人留学生特別選抜

上記(1)～(11)の出願資格のいずれかに該当する者で、外国の国籍を有する者のうち、出入国管理及び難民認定法において大学の入学に支障のない在留資格を有する者又は取得できる見込みの者

5. 出願資格認定

(1) 受付期間・認定方法及び結果通知

受 付 期 間	令和7年 7月7日（月） ～ 令和7年 7月11日（金）17時必着
結 果 通 知	令和7年 7月25日（金）

※持参の場合の受付は、8時30分から17時までとします。

前記「4. 出願資格」の(7)、(9)、(10)、(11)により出願する者は、事前に出願資格の審査を受け、出願資格を有することが認定された者のみ出願することができますので、医学部医療人育成課入試係（電話(0985)-85-8970）に問い合わせの上、次の書類を提出し、出願資格の認定を受けてください。

なお、出願資格(11)における個別審査とは、短期大学、高等専門学校、専修学校、各種学校の卒業生又は外国大学日本分校等の修了者など大学卒業資格を有しない者を対象として、研究歴及び実務経験等を個別に審査するものです。

出願資格の認定結果は、提出書類に基づき審査し、上記の期日までに本人に通知します。

(2) 提出書類

ア. 出願資格(7)による者

提 出 書 類	摘 要
出願資格認定申請書	本研究科所定の様式
最終学校の卒業（見込）又は修了（見込）証明書	出身学校の長が作成したもの
在学証明書（3年次在学中の者のみ）	出身学校の長が作成したもの
成績証明書	出身学校の長が作成したもの
志望理由書	本研究科所定の様式
業績調書（共著の論文、著書を含む。）	本研究科所定の様式

イ. 出願資格(9)、(10)、(11)による者

提 出 書 類	摘 要
出願資格認定申請書	本研究科所定の様式
最終学校の卒業（見込）又は修了（見込）証明書	出身学校の長が作成したもの
成績証明書	出身学校の長が作成したもの
研究内容証明書	本研究科所定の様式
志望理由書	本研究科所定の様式
業績調書（共著の論文、著書を含む。）	本研究科所定の様式

※出願に際しては、予め志望する専攻領域の研究指導教員に相談の上、必要書類を提出してください。

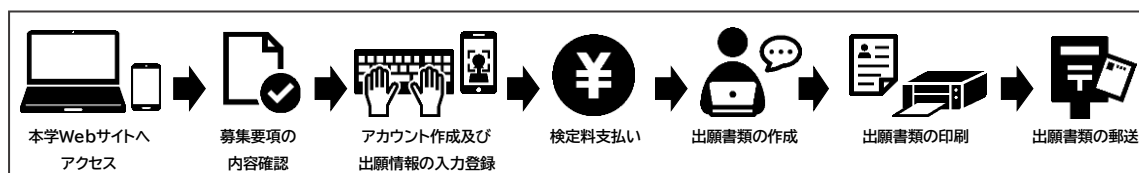
(3) 郵送の場合

「書留」又は「簡易書留」の郵便とし、封筒の表に「出願資格認定申請書類在中」と朱書きしてください。

6. 出願手続及び方法

本学の出願方法は、Web 出願のみとなっています。Web 出願システムで、出願情報を入力・登録し、検定料を支払う（以下、「Web 出願登録という。」）だけでは、出願完了とはなりません。出願期間内に「(3) 提出書類」を窓口へ持参又は郵送（出願期間内に必着）し、内容に不備がなかった場合に、出願完了となります。

(1) Web 出願の流れ



Web 出願システムへは、本学 Web サイト

<https://www.miyazaki-u.ac.jp/exam/graduate-exam/webapply.html>

からアクセスし、Web 出願登録を行ってください。

なお、システムについてはPC からの操作を推奨します。



(2) 出願期間

令和7年 8月18日（月）～令和7年 8月22日（金）17時必着

- ① 受付時間は、8時30分から17時までとします。
 - ② 郵送の場合 「書留」又は「簡易書留」の郵便で送付してください。
 - ③ 持参の場合 宮崎大学医学部医療人育成課入試係（清武キャンパス）へ持参してください。
- ※Web 出願登録期間については令和7年8月12日（火）～8月22日（金）17時までとしており、事前に登録可能です。

(3) 提出書類

- ① Web 出願システムに入力し、印刷するもの（印字されている内容に誤りがないか確認してください。）

提出書類	摘 要
志願票	Web 出願登録及び入学検定料支払い後、A4用紙に印刷したもの。 <u>検定料支払い後は、登録内容を変更できませんので、支払い前に間違いがないか十分確認してください。</u>

- ② Web 出願システムにアップロードする必要があるもの

証明写真	志願者本人の顔写真のアップロードを行ってください。 （注）写真は、志願者本人と判別できるもので、カラー・上半身・無修正・無帽・正面向き・無背景・直近3か月以内に撮影した100KB～5MBサイズのjpg又はpngデータを使用してください。
------	---

- ③ その他出願者が準備する必要提出書類

本学所定の様式は本学ホームページからダウンロードし、パソコンで作成し印刷するかまたは印刷したものに黒のボールペンで直接記入してください。

URL : <https://www.miyazaki-u.ac.jp/exam/graduate-exam/selection/ijyu-syushi.html>

提出書類	摘 要
志 望 理 由 書	・ 本研究科所定の様式に記入してください。 ・ 出願資格認定時に提出された場合は、必要ありません。
成 績 証 明 書	・ 出身大学（学部）長が作成し厳封したもの。 ・ 上記証明書が、日本語及び英語以外の場合は、日本語訳又は英語訳を添付してください。 ・ 出願資格認定時に提出された場合は、必要ありません。
卒 業（見 込） 証 明 書	・ 出身大学が作成したもの。 ・ 上記証明書が、日本語及び英語以外の場合は、日本語訳又は英語訳を添付してください。 ・ 出願資格認定時に提出された場合は、必要ありません。
学位授与証明書又は 学位授与申請受理証明書	・ 大学改革支援・学位授与機構が証明したもの。 (出願資格(2)に該当する者)
パスポートの写し または 住 民 票 の 写 し	・ 本邦に在留している外国人で出願する人は、市区町村長の発行する住民票の写しを提出してください。
受験許可書（１） 受験許可書（２）	・ 大学に在学中の者又は官公署、会社等に在職中の者は、当該所属長の受験許可書（１）を、昼夜開講制を希望する者で在職のまま在学しようとする者は、受験許可書（２）を提出してください。 (本研究科所定の様式) ・ 令和８年３月に卒業見込の場合は必要ありません。

(4) 検定料の支払い

① 検定料 30,000 円

検定料に加えて、支払方法に応じたシステム利用料が必要です。クレジットカード決済 600 円、コンビニ決済及び Pay-easy 決済は 300 円です。

本学の指定する激甚災害により被災した志願者については、検定料免除の特別措置を希望することができます。以下の URL を参照し、該当する方は出願前に必ず本学学び・学生支援機構入試課（0985-58-7138）へ連絡してください。

※ 激甚災害により被災した志願者の入学検定料の免除について
<https://www.miyazaki-u.ac.jp/exam/admission/nk-menjo.html>



② 支払方法

クレジットカード決済、コンビニ決済、Pay-easy 決済が利用できます。

(注１) 検定料の支払いが完了すると、出願情報の修正はできません。必ず支払い前に入力した情報（特に、志望コースや住所）に間違いがないかを確認してください。

(注２) 提出書類受理後は、いかなる理由があっても検定料の返還には応じることができません。

ただし、検定料の支払い後、出願しなかった場合は、返還手続きを行うことができますので、期限内に手続きを行ってください。なお、期限を過ぎてからの請求には一切応じることができません。

返還手続き方法は、以下の URL をから確認してください。

※ 入学検定料返還手続きについて

<https://www.miyazaki-u.ac.jp/exam/admission/nk-henkan.html>



※ 出願に際しての留意事項

- ① 黒のボールペンを使用し、省略しないで正確に記入してください。
- ② ※欄は記入しないでください。また、氏名及び生年月日は戸籍上のものを記入してください。
- ③ 出願書類等は一括して取りそろえ、出身大学長を経て提出するか、又は本人が直接提出してください。
なお、書類不備のものは受け付けませんので、記入もれや誤記等がないように十分注意してください。
- ④ 出願に際しては、予め志望するコース（13～17頁）の各所属講座分野等の代表教員に照会してください。
- ⑤ 出願手続等について不明な点があるときは、本学医学部医療人育成課入試係に照会してください。
- ⑥ 出願書類の記載事項と事実が相違していることが判明した場合は、入学を取り消すことがあります。
- ⑦ 出願書類の受付後、記入事項の変更及び書類の変更は認めません。また、いかなる理由があっても受付後の出願書類は返還しません。
- ⑧ 国費留学生は、国費外国人留学生証明書（出身大学が作成したもの）を提出してください。
- ⑨ 障がい等のある入学志願者については、49頁「障がい等のある入学志願者の事前相談」をご確認ください。
- ⑩ 出願書類を受理した後は、以下の場合を除き、振り込み済の検定料は返還いたしません。
○検定料を振り込んだが本学に出願しなかった（出願書類等を提出しなかった又は出願が受理されなかった）場合
○検定料を誤って二重に振り込んだ場合

(5) 出願手続き完了及び受験票の印刷

出願手続きが完了した者には、令和7年8月27日（水）以降に、Web 出願システムより受験票の印刷が可能になりますので、必ずWeb 出願システムにログインして受験票を確認し、A4判で印刷し、試験当日に必ず持参してください。受験票が確認できない場合は、本学医学部医療人育成課入試係（0985-85-8970）へ連絡してください。

7. 出願書類等提出先及び照会先

〒 889-1692 宮崎県宮崎市清武町木原5200

宮崎大学医学部医療人育成課入試係

電話 (0985) 85-8970(直通) FAX (0985) 85-0693

8. 入学者選抜方法

(1) 一般選抜（社会人選抜を含む）

選考は、提出された書類審査及び口述試験により行います。

(2) 外国人留学生特別選抜

選考は、書類審査及び口述試験により行います。

※ 海外在住の志願者については、渡日前入試を実施します。口述試験の受験方法はインターネット等を利用した受験とします。

なお、この入試方法を希望する場合は、事前に希望する指導教員と十分に相談の上、申し込みください。

(3) 学力検査等の実施期日

期 日	科 目 等	時 間	備 考
令和7年 9月11日（木）	口述試験	9:00～12:00	

※ 試験当日の集合時間は8時40分を予定していますが、志願者の人数によっては集合時間が変更になる可能性があります。

詳細については、後日メールにて案内します。

(4) 試験場

宮崎大学医学部（清武キャンパス）

※試験場の詳細については、後日メールにて案内します。

9. 合格者の発表及び通知

(1) 合格発表

日 時 令和7年 10月10日（金）午前10時

場 所 宮崎大学医学部講義実習棟玄関横掲示板

(2) 合格通知

合格者には合格通知書を送付します。電話による可否の問い合わせには応じません。

10. 入学手続

① 入 学 料 282,000円

② 授業料年額 535,800円（前期267,900円 後期267,900円）

○本学が指定した期間中に手続を行わなかった者は、入学辞退者として取扱います。

○入学料及び授業料は法令改正等により金額が変更になる場合があります。

○入学料は入学手続までに納入してください。

○納入された入学料は、次の場合を除き、いかなる理由があっても返還できません。

 i. 入学料を払い込んだが、入学手続をしなかった場合

 ii. 入学料を誤って二重に払い込んだ場合

※返還にかかる手数料は、原則、納入者の負担とします。

○在学中に授業料の改定が行われた場合は、改定時から新授業料が適用されます。

○長期履修生の授業料は、正規修業年限の授業料合計額を申請された履修年数で按分した額を年度毎に納入することになっています。

○授業料の納付は新学期開始後になります。

○授業料の納入は、預金口座からの「口座振替」とします。

前期の口座振替日は初年度は5月下旬頃、次年度以降は4月下旬頃の予定です。

後期の口座振替日は10月下旬頃の予定です。

<https://www.miyazaki-u.ac.jp/manabi-jim/campus-life-info/school-and-admissionfee/>

③ 入学手続

・入学手続期間：10月下旬

（入学手続書類等の詳細は、メールにて通知します。）

医科学獣医科学専攻（修士課程）案内

1. 修業年限

標準修業年限は2年とする。ただし、優れた業績を挙げたものにあつては、大学院設置基準第16条ただし書きの規定により、1年以上の在学で足りるものとします。

2. 履修コース

(1) 生命科学研究者育成コース(Training Course for Researchers of Life Science)

「生命科学研究者育成コース」は、将来は医学・獣医学領域の生命科学研究者や教育者として活躍することができる人材、また、研究心を持ち科学的な思考で人獣共通感染症などの感染症に対応できる畜産関連の人材を養成することを目的としています。このコースでは生命科学に関する広範な知識を学んだ上で、修了後の医学獣医学総合研究科博士課程への進学も視野に入れ、医学ないし獣医学研究における重要な基盤技術を修得し、自立した研究者として研究を行うための基礎を修得することが可能となります。

【学位】修士（医科学）、修士（動物医科学）

(2) 高度医療関連技師・サービスイノベーション人材養成コース(Training Course for Healthcare and Service Innovation Professionals)

「高度医療関連技師・サービスイノベーション人材養成コース」は、種々の医療現場における専門的医療支援技能者が、合理的・科学的な思考能力を修得し、また、より高度な専門知識と技術を修得することが可能となります。

【学位】修士（医科学）

(3) 生命倫理コーディネーターコース(Training Course for Bioethics Coordinator)

「生命倫理コーディネーターコース」は、生命科学や医療における倫理コンサルトに関する基礎知識と専門的スキルを修得することを目的とする。希少性のある専門職業人として今後の社会ニーズが期待される専門知識と能力を修得することが可能となります。

【学位】修士（医科学）

3. 各所属講座分野等の主たる研究内容及び代表教員

(1) 生命科学研究者育成コース

No.	所属講座分野等	主たる研究内容	代表教員
1	解剖学講座組織細胞化学分野	細胞増殖・分化・死制御機構の分子組織細胞化学的研究	菱川 善隆
2	解剖学講座超微形態科学分野	胃酸分泌機構に関する組織科学的研究	澤口 朗
3	解剖学講座医学生物学分野		未定（※）
4	機能制御学講座統合生理学分野	高次脳神経機能－特に学習・記憶－における神経可塑性の分子機能に関する研究	高宮 考悟
5	機能制御学講座循環動態生理学分野	循環器疾患の病態生理に関する研究 細胞死・ガン・老化に関する分子生物学的研究	渡邊 望
6	機能制御学講座血管動態生化学分野		未定（※）
7	機能制御学講座機能生化学分野	細胞のストレス応答と疾患の分子メカニズム	西頭 英起
8	機能制御学講座薬理学分野	細胞骨格による生体の恒常性維持機構	武谷 立
9	機能制御学講座生命分子科学分野	生命現象の解明とその応用技術の開発を目指した新規分子の創製	徐 岩
10	機能制御学講座蛋白質機能学分野	蛋白質の立体構造に基づいた生命現象の解明に関する研究	和田 啓
11	病理学講座構造機能病態学分野	循環器疾患の病理・病態に関する研究	山下 篤
12	病理学講座腫瘍形態病態学分野	病理診断学、細胞診断学に関する研究	佐藤 勇一郎
13	感染症学講座微生物学分野	プリオン病を中心としたタンパク異常凝集が引き起こす疾患群の分子機構に関する研究	新 竜一郎
14	感染症学講座寄生虫学分野	寄生虫の生物学的特性に関する研究	丸山 治彦
15	感染症学講座免疫学分野	免疫応答における樹状細胞機能の役割に関する研究	佐藤 克明
16	社会医学講座公衆衛生学分野		未定（※）
17	社会医学講座法医学分野		未定（※）

No.	所属講座分野等	主たる研究内容	代表教員
18	内科学講座循環器・腎臓内科学分野	心腎連関症候群の発症病態に関する基礎的研究	海北幸一
19	内科学講座血液・糖尿病・内分泌内科学分野	血液学、消化器学、腫瘍学に関する研究	下田和哉
20	内科学講座呼吸器・膠原病・感染症・脳神経内科学分野	呼吸器・膠原病・感染症・神経疾患の診断と治療に関する基礎的及び臨床的研究	宮崎泰可
21	内科学講座消化器内科学分野	消化器疾患、主に胆膵疾患の病態と治療に関する研究	河上洋
22	外科学講座肝胆膵外科学分野	肝胆膵および消化管の外科関連疾患の病態と治療に関する研究	七島篤志
23	外科学講座心臓血管外科学分野	循環器外科学に関する研究	古川貢之
24	発達泌尿生殖医学講座泌尿器科学分野	泌尿器疾患の病態解明と治療法の開発に関する研究	賀本敏行
25	臨床神経科学講座脳神経外科学分野	脳腫瘍の診断と治療に関する研究	沖田典子
26	発達泌尿生殖医学講座小児科学分野	原因不明の難治性小児疾患の病態解明へのアプローチ	盛武浩
27	発達泌尿生殖医学講座産婦人科学分野	周産期医療に関する研究	桂木真司
28	感覚運動医学講座整形外科分野	運動器外傷・障害に関する研究	亀井直輔
29	感覚運動医学講座皮膚科学分野		未定（※）
30	感覚運動医学講座耳鼻咽喉・頭頸部外科学分野	聴覚メカニズムに関する臨床的および基礎的研究	高橋邦行
31	感覚運動医学講座顎顔面口腔外科学分野	口腔顎顔面領域の疾患に対する診断と治療に関する研究	山下善弘
32	病態解析医学講座放射線医学分野	C T, M R I, P E Tを用いた画像診断	東美菜子
33	病態解析医学講座麻酔生体管理学分野	麻酔、集中治療、疼痛機序に関する研究	恒吉勇男
34	病態解析医学講座救急・災害医学分野	侵襲に対する生体反応に関する臨床的研究	落合秀信
35	臨床神経科学講座精神医学分野	精神疾患のトランスレーショナルリサーチ	平野羊嗣

No.	所属講座分野等	主たる研究内容	代表教員
36	感覚運動医学講座眼科学分野	網膜色素変性患者に対するゲノム解析、遺伝子治療に関する研究	池田 康 博
37	薬剤部	医薬品の有効性・安全性に係る基礎的・臨床的研究	池田 龍 二
38	フロンティア科学総合研究センター 生命科学研究支援部門生物資源分野	ヒトの病態を代替するモデル動物の開発と維持に関する研究	越 本 知 大
39	フロンティア科学総合研究センター 生命科学研究支援部門R I 分野	微生物におけるタンパク質輸送機序の解明	塩 田 拓 也
40	フロンティア科学総合研究センター 生命科学研究支援部門生命機能解析分野	エネルギー恒常性維持の破綻に関するメカニズムの研究	伊 達 紫
41	フロンティア科学総合研究センター 生命科学研究支援部門生命機能解析分野		未 定 (※)
42	医療人育成推進センター	慢性糸球体腎炎の臨床病理学的解析に関する研究	小 松 弘 幸
43	獣医解剖学	動物の生体機構に関する研究	保 田 昌 宏
44	獣医生理学	生理活性ペプチドの探索と応用	井 田 隆 徳
45	獣医生理学	動物の本能行動を司る生理活性ペプチドの探索と、その機能の解明	丸 山 圭 介
46	フロンティア科学総合研究センター 生命科学研究支援部門		未 定 (※)
47	獣医薬理学	アクアポリンに関する研究 腎疾患のバイオマーカーに関する研究 急性腎障害および多臓器不全に関する研究 動物の遺伝病に関する研究	池 田 正 浩
48	獣医薬理学	腎疾患発症メカニズムに関する研究	園 田 紘 子
49	獣医病理学	動物の呼吸器病に関する研究	平 井 卓 哉
50	産業動物衛生学	産業動物の適正な飼育管理と疾病予防に関する研究	上 村 涼 子
51	獣医微生物学	ウイルス感染症に関する研究	岡 林 環 樹
52	獣医微生物学	人獣共通感染症の分子ウイルス学に関する研究	齊 藤 暁
53	獣医公衆衛生学	病原微生物の分子生物学的研究	山 崎 朗 子

No.	所属講座分野等	主たる研究内容	代表教員
54	獣医公衆衛生学	病原微生物の分子生物学的研究	山田健太郎
55	獣医外科学		未定（※）
56	獣医内科学	動物における心エコー図による心機能評価に関する研究	大菅辰幸
57	産業動物内科学	反芻動物、周産期疾患、カルシウム代謝、酸化ストレス、臍部疾患の診断法・治療法に関する研究	佐藤礼一郎
58	産業動物臨床繁殖学	獣医周産期学に関する研究	大澤健司
59	産業動物臨床繁殖学	産業動物の繁殖効率向上に関する研究	北原豪
60	獣医臨床放射線学	画像診断装置と脳脊髄液の解析を利用した動物の神経疾患の診断および治療に関する研究	佐藤裕之
61	獣医寄生虫病学	寄生虫症の診断法開発、宿主-寄生虫相互作用の解析に関する研究	吉田彩子
62	獣医寄生虫病学	人獣共通寄生虫病の感染源動物を対象とした、診断法開発、疫学調査、感染源対策についての研究	入江隆夫
63	獣医機能生化学		未定（※）
64	動物病院	臨床獣医学に関する新規治療法ならびに診断法の開発	永延清和
65	産業動物伝染病防疫学		未定（※）
66	産業動物伝染病防疫学	重要家畜伝染病の防疫戦略に関する研究	関口敏
67	獣医遺伝情報学	嗅覚関連遺伝子を中心とした多重遺伝子族とゲノム進化に関する研究	新村芳人
68	フロンティア科学総合研究センター 先導研究推進部門支援型研究者育成分野		未定（※）
69	産業動物防疫リサーチセンター	産業動物のウイルス性感染症に関する研究	目堅博久
70	リハビリテーション部	多様な疾患における運動療法の効果に関する研究	荒川英樹

(2) 高度医療関連技師・サービスイノベーション人材養成コース

No.	所属講座分野等	主たる研究内容	代表教員
71	病理学講座構造機能病態学分野	循環器疾患の病理・病態に関する研究	山下 篤
72	病理学講座腫瘍形態病態学分野	病理診断学、細胞診断学に関する研究	佐藤 勇一郎
73	内科学講座循環器・腎臓内科学分野	心腎連関症候群の発症病態に関する基礎的研究	海北 幸一
74	感覚運動医学講座整形外科学分野	スポーツ外傷・障害予防と治療に関する研究	亀井 直輔
75	感覚運動医学講座 耳鼻咽喉・頭頸部外科学分野	聴覚リハビリテーション、人工聴覚器に関する研究	高橋 邦行
76	感覚運動医学講座顎顔面口腔外科学分野	口腔顎顔面領域の疾患に対する診断と治療に関する研究	山下 善弘
77	感覚運動医学講座眼科学分野	網膜色素変性疾患患者のゲノム解析に関する研究	池田 康博
78	病理部		未定（※）
79	リハビリテーション部	大規模災害における災害リハビリテーション支援活動に関する研究	荒川 英樹

(3) 生命倫理コーディネーターコース

No.	所属講座分野等	主たる研究内容	代表教員
80	社会医学講座生命・医療倫理学分野	臨床研究における倫理ガバナンス、臨床現場における倫理コンサルテーション体制、倫理的推論の基礎理論に関する研究	板井 孝一郎
81	社会医学講座研究の倫理と政策学分野		未定（※）

※代表教員が『未定』となっている分野を希望する場合は、事前に下記担当にご連絡ください。

宮崎大学医学部医療人育成課入試係

電話（0985）85-8970

4. 教育課程等の概要

(授業科目及び単位数)

授 業 科 目		授業 年次	単位数	
			必修	選択
研究基盤共通科目	社会・医学倫理	1	2	
	生体構造学概論	1	2	
	生体機能学概論	1	2	
	病理・病態学概論	1	2	
	人獣共通感染症学概論	1	2	
	基礎細胞生物学 (生物系以外の学部出身者のみ必修)	1	2	
研究基盤共通選択科目	社会環境疫学・医療統計学	1		2
	研究者のための英語演習	1		2
	国際交流支援コミュニケーション演習	1		2
	実験動物学	1		2
	獣医学概論	1		2
	臨床薬理・薬剤学	1		2
	健康スポーツ医学	1		2
	医療関連法規	1		2
	医療サービスイノベーション論	1		2
	医療サービス統計論	1		2
	医療サービス知識創造論	1		2
	(博士課程開講科目) サイエンスコミュニケーション特論	1～2		2
	先端的医学獣医学特論	1～2		2
コース別研究科目	生命科学研究者育成コース			
	分子組織細胞生物学演習	1～2		2
	超微形態学演習	1～2		2
	分子神経科学演習	1～2		2
	循環生理・分子生理学演習	1～2		2
	生体制御解析学演習	1～2		2
	生体システム制御学演習	1～2		2

コース別研究科目	生命科学研究者育成コース	細胞情報機能学演習	1 ～ 2		2
		分子生命化学演習	1 ～ 2		2
		蛋白質構造学演習	1 ～ 2		2
		病態医化学演習	1 ～ 2		2
		生理活性ペプチド探索演習	1 ～ 2		2
		循環病理学演習	1 ～ 2		2
		腫瘍細胞生物学演習・実習	1 ～ 2		2
		病原・常在微生物学演習	1 ～ 2		2
		寄生生物学演習	1 ～ 2		2
		免疫生物学演習	1 ～ 2		2
		公衆衛生学演習	1 ～ 2		2
		法医学解剖診断学演習	1 ～ 2		2
		循環器・腎臓内科学演習・実習	1 ～ 2		2
		病態修復学演習	1 ～ 2		2
		呼吸器・膠原病・感染症・脳神経内科学演習	1 ～ 2		2
		ウイルス発癌病態解析学演習	1 ～ 2		2
		胆膵疾患病態制御演習	1 ～ 2		2
		腫瘍機能制御外科学演習	1 ～ 2		2
		病態制御外科学演習	1 ～ 2		2
		悪性腫瘍泌尿器科学演習	1 ～ 2		2
		神経腫瘍学演習	1 ～ 2		2
		小児科学演習	1 ～ 2		2
		周産期脳障害の発症と予防演習	1 ～ 2		2
		神経・運動器・脊椎病態学演習	1 ～ 2		2
		皮膚科学演習	1 ～ 2		2
		聴覚生理・病態学演習	1 ～ 2		2

コース別研究科目	生命科学研究者育成コース	顎口腔再建学演習	1 ～ 2		2
		眼科学演習	1 ～ 2		2
		画像診断学演習	1 ～ 2		2
		血管平滑筋反応学演習	1 ～ 2		2
		急性病態解析学演習	1 ～ 2		2
		神経生理学演習	1 ～ 2		2
		慢性糸球体腎炎解析演習	1 ～ 2		2
		薬物動態学演習	1 ～ 2		2
		実験動物学演習	1 ～ 2		2
		蛋白質相互作用解析演習	1 ～ 2		2
		動物比較生体構造学演習	1 ～ 2		2
		動物神経生理学演習	1 ～ 2		2
		内分泌ホルモンの生理・生化学演習	1 ～ 2		2
		生体内水分子輸送学演習	1 ～ 2		2
		細胞障害分子生物学演習	1 ～ 2		2
		比較病理学演習	1 ～ 2		2
		産業動物衛生学演習	1 ～ 2		2
		獣医病原細菌学演習	1 ～ 2		2
		食品由来感染症学演習	1 ～ 2		2
		食品微生物学演習	1 ～ 2		2
		越境性動物感染症学演習	1 ～ 2		2
		獣医循環器画像診断学演習	1 ～ 2		2
		獣医心血管系腫瘍学演習	1 ～ 2		2
		獣医循環器学演習	1 ～ 2		2
		産業動物基礎内科学演習	1 ～ 2		2
		獣医繁殖内分泌学演習	1 ～ 2		2

コース別研究科目	生命科学研究者育成コース	放射線基礎獣医学演習	1～2		2
		獣医神経疾患診断学演習	1～2		2
		獣医寄生虫学演習	1～2		2
		獣医機能生化学演習	1～2		2
		獣医麻酔学演習	1～2		2
		獣医伝染病学演習	1～2		2
		獣医遺伝情報学演習	1～2		2
		生命科学研究	1～2	8	
	高度医療関連技師・サービスイノベーション人材養成コース	神経・運動器・脊椎臨床医学演習	1～2		2
		眼科疾患学演習	1～2		2
		神経耳科学的検査法とリハビリテーション	1～2		2
		顎口腔機能病態学演習	1～2		2
		血液浄化療法学演習・実習	1～2		2
		病理診断学演習	1～2		2
		病理診断・細胞診断の原理と診断方法演習	1～2		2
		腫瘍形態学演習・実習	1～2		2
		医療サービス統計論演習	1～2		1
		医療サービス知識創造論演習	1～2		1
		医療サービスイノベーション演習Ⅰ	1～2		1
		医療サービスイノベーション演習Ⅱ	1～2		1
		専門技術学研究	1～2	8	

コース別研究科目	生命倫理コーディネーター基礎演習	1～2		2
	疫学倫理コーディネーター基礎演習	1～2		2
	生殖倫理コーディネーター基礎演習	1～2		2
	医療サービスサイエンス基礎演習	1～2		2
	動物福祉コーディネーター基礎演習	1～2		2
	生命倫理コーディネーター研究	1～2	8	

5. 履修方法及び修了要件

【履修方法】

- 「研究基盤共通科目」について、専攻必修の講義として、5科目10単位を履修。
ただし、生物系以外の学部出身者については基礎細胞生物学を含む6科目12単位を履修。
- 「研究基盤選択共通科目」について、3科目6単位以上を選択履修。ただし、生命科学研究者育成コースの者は医学獣医学総合研究科博士課程の2科目4単位（サイエンスコミュニケーション特論、先端的医学獣医学特論）、生命倫理コーディネーターコースの者は社会環境疫学・医療統計学、医療関連法規2科目4単位を選択すること。
- 「コース別研究科目」について、各コースに設定された演習・実習科目の中から3科目6単位以上、研究（8単位）を履修。
- 高度医療関連技師・サービスイノベーション人材養成コースのうち、サービスイノベーション人材の研究指導を受ける者は「研究基盤共通科目」について専攻必修の講義として、5科目10単位を履修。「研究基盤選択共通科目」について、社会環境疫学・医療統計学又は医療関連法規のどちらか1つ及び医療サービスイノベーション論、医療サービス統計論、医療サービス知識創造論の4科目8単位を履修。「研究科目」について、医療サービス統計論演習、医療サービス知識創造論演習、医療サービスイノベーション演習Ⅰ、医療サービスイノベーション演習Ⅱ及び生命倫理コーディネーターコースの医療サービスサイエンス基礎演習の5科目6単位以上、研究（8単位）を履修。

【修了要件】

修士課程に2年以上在学し、30単位以上（生物系以外の学部出身者及びサービスイノベーション人材の研究指導を受ける者は32単位以上）を修得し、必要な研究指導を受け、かつ本研究科が行う学位論文審査及び最終試験に合格することを修了要件とする。本専攻を修了した者には、修士（医科学）又は修士（動物医科学）が与えられる。

宮崎大学大学院 医学獣医学総合研究科

医学獣医学専攻（博士課程）アドミッション・ポリシー

1. 教育理念（教育理念・目標、育成する人材像）

本専攻の使命は、医学・獣医学の発展と社会の福祉の向上に寄与することです。各コースでは、以下を備えた人材を育成します。

1. 高度臨床医育成コース

高度の専門性が必要とされる医療業務に必要な診断・治療技術と高い倫理観に裏打ちされた専門性、医学、獣医学、その他の生物学に関する幅広い基礎知識とそれに裏打ちされた医療情勢の変化に対応する能力、動物実験などの臨床研究遂行に必要な知識と経験や人獣共通感染症に関する幅広い知識等に裏打ちされた研究能力を有する高度専門職業人としての臨床医を育成する。

2. 高度獣医師育成コース

伴侶動物や産業動物の健康を管理するために必要な高度な診断技術と治療法及び研究能力を身につけた獣医師及び指導的獣医師、また、食肉衛生、家畜衛生及び公衆衛生関係で働く獣医師に対して指導できる高度獣医師を育成する。

3. 研究者育成コース

医学、獣医学及び他の生物学的研究に関する幅広い基礎知識、様々な基礎研究の遂行に必要な動物実験等の知識と実験手技、自立した研究者として様々な情勢の変化に対応しながら研究を進める能力を有し、医学、獣医学、及び両分野に関連した研究領域で国際的に活躍できる研究者を育成する。

2. 入学者受け入れ方針（求める人材像）

本専攻は、高度専門職業人としての医師、獣医師及び研究者・教育者の養成を主眼とし、医学・獣医学の分野において自立して研究活動を行うのに必要な高度の研究能力とその基礎となる豊かな学識を養うことを目的とします。

したがって、本専攻では、次のような人材を求めています。

1. 高度臨床医育成コース

医学、獣医学を含めた生物学的研究に関する幅広い基礎知識を基盤とした優れた研究能力をもちつつ、日進月歩の勢いで発展する医科学に対しても的確に対応できる能力、さらには崇高な倫理観に裏打ちされた高度な臨床的専門性を持った指導的臨床医を志す人材（医師）を求めます。

2. 高度獣医師育成コース

すでに獣医師として現場で活躍しつつ、より高度な専門技術と研究能力を身につけたいという明確な目的意識を有する人材、あるいは産業動物獣医師の指導に当たる農業共済組合等や家畜衛生、公衆衛生関係の官公庁に所属し指導的獣医師として活躍したい人材を求めます。新規卒業生においては、学部教育で培われた知識や技術をさらに発展させ、より高度な専門性を求めるモチベーションの高い人材を求めます。

3. 研究者育成コース

幅広い基礎知識や社会変化に対応する能力を有して自立した研究者として、医学、獣医学及び両分野に関連した研究領域で国際的に活躍する研究者及び教育者を志す人材を求めます。本コースでは、医学部、獣医学部を卒業した者だけでなく、歯学・薬学部を卒業した学生や、他の研究分野の修士課程修了者など他分野で培った専門能力を基盤として、生命科学分野での学際的研究を開拓し、将来、人々の福祉と健康増進に寄与することを志す人材も積極的に受け入れます。

3. 入学者選抜の基本方針

1. 求める人材像に沿って、受験者のアカデミックバックグラウンドやキャリアを参考にしつつ、受験者が希望する研究テーマや目標、本博士課程修了後に目指すもの等を考慮し、総合的に選抜します。

2. 客観的で透明性のある方法によって、公平に選抜します。

〔選抜区分による選抜方法及び評価の観点〕

上記の〔入学者受け入れ方針（求める人材像）〕で示す能力を有する人を多面的・総合的に評価するため、以下の方法により選抜します。

① 一般選抜（社会人選抜を含む）

入学者の選抜は、口述試験及び書類審査の結果を総合的に判断して行います。口述試験では、主として専門領域の知識・技能、研究への意欲、研究分野への関心などを評価します。書類審査では、志望動機、表現力などを評価します。

② 外国人留学生特別選抜

入学者の選抜は、口述試験及び書類審査の結果を総合的に判断して行います。口述試験では、主として専門領域の知識・技能、研究への意欲、研究分野への関心、語学力などを評価します。書類審査では、志望動機、表現力などを評価します。

社会人学生に対する修学上の配慮

昼夜開講による夜間履修について

本研究科においては、大学院設置基準第14条「教育方法の特例」を適用し、有職者が離職することなく修学することが可能となるよう、昼夜開講します。

なお、受講時間及び研究時間は指導教員との協議の上、設定します。

長期履修学生制度について

この制度は、学生が職業を有している等の事情により、標準修業年限（博士課程4年）を超えて一定の期間にわたり計画的に教育課程を履修し、修了することができる制度です。

希望される場合は、授業料を納入する前に長期履修生としての申請手続きをすることになっています。授業料納入後の申請は認められませんので、注意してください。

上記の詳細（メリット等）は下記ホームページアドレスでご覧ください。

<https://www.miyazaki-u.ac.jp/ijudaigakuin/>

国費外国人留学生・政府派遣留学生秋季入学(10月入学) について

国費外国人留学生並びに政府派遣留学生を対象に10月入学を実施しています。

【問合せ先】

〒889-1692 宮崎県宮崎市清武町木原5200

宮崎大学医学部医療人育成課入試係

電話 (0985) 85-8970 FAX (0985) 85-0693

医学獣医学専攻（博士課程）

出 願 期 間	令和7年 8月18日 (月) }
	令和7年 8月22日 (金)
試 験 日	令和7年 9月11日 (木)
合 格 発 表	令和7年 10月10日 (金)

合格発表後、入学定員に満たない場合は、欠員補充第2次募集を行うことがあります。
この場合、詳細については宮崎大学ホームページを通じて公表します。

医学獣医学専攻 23人 (含む外国人留学生特別選抜 若干人)

医学獣医学専攻 (Doctoral Course for Medicine and Veterinary Medicine) では、医学と獣医学が連携・融合することにより、医学、獣医学に関する広範な知識に基づいた総合的判断力と高度な研究能力を備え、技術・知識基盤社会の形成に資する国際的に活躍できる医学・獣医学研究者及び教育者、また、高度な研究マインドに裏打ちされた質の高い指導的臨床医並びに獣医師の養成を目指します。

また、医学と獣医学が連携・融合して総合的な教育研究を行い、地域の要請に応えるとともに、地球規模での課題解決に貢献できる人材養成を目指します。

このような人材を養成することにより、21世紀の喫緊の課題である新興・再興感染症対策を始めとする医学・獣医学分野の諸課題の解決と人類の健康と福祉の向上に貢献します。

一般選抜（社会人選抜を含む）

- (1) 大学の医学、歯学又は修業年限6年の獣医学、薬学を履修する課程を卒業した者及び令和8年3月卒業見込みの者
- (2) 外国において、学校教育における18年の課程（最終課程は医学、歯学、獣医学又は薬学）を修了した者及び令和8年3月までに修了見込みの者
- (3) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国

の学校教育における18年の課程（最終課程は、医学、歯学、獣医学又は薬学）を修了した者及び令和8年3月までに修了見込みの者

- (4) 我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における18年の課程（最終課程は、医学、歯学、獣医学又は薬学）を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置づけられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者及び令和8年3月までに修了見込みの者
- (5) 外国の大学その他の外国の学校（その教育研究活動等の総合的な状況について、当該外国の政府又は関係機関の認証を受けた者による評価を受けたもの又はこれに準ずるものとして文部科学大臣が別に指定するものに限る。）において、修業年限が5年以上である課程を修了すること（当該外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該課程を修了すること及び当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって前号の指定を受けたものにおいて課程を修了することを含む。）により、学士の学位に相当する学位を授与された者
- (6) 大学（医学、歯学又は修業年限6年の獣医学、薬学を履修する課程を含むものに限る。）に4年以上在学し、本研究科が、所定の単位を優れた成績をもって修得したものと認めた者
- (7) 文部科学大臣の指定した者（昭和30年文部省告示第39号に該当する者）
 - 1) 旧大学令（大正7年勅令第388号）による大学の医学、歯学の学部において医学又は歯学を履修し、これらの学部を卒業した者
 - 2) 防衛省設置法（昭和29年法律第164号）による防衛医科大学校を卒業した者及び令和8年3月卒業見込みの者
 - 3) 修士課程を修了した者及び修士の学位の授与を受けることのできる者並びに前期2年及び後期3年の課程の区分を設けない博士課程に2年以上在学し、30単位以上を修得し、かつ、必要な研究指導を受けた者（学位規則の一部を改正する省令（昭和49年文部省令第29号）による改正前の学位規則（昭和28年文部省令第9号）第6条第1号に該当するものを含む。）で本研究科が、医学、歯学、獣医学又は薬学の学部（修業年限6年の課程）を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者
- (8) 外国において学校教育における16年の課程（医学、歯学、獣医学又は薬学を履修する課程を含むものに限る。）を修了し、本研究科が、所定の単位を優れた成績をもって修得したものと認めた者
- (9) 学校教育法第102条第2項の規定により大学院（医学、歯学、獣医学又は薬学を履修する課程を含むものに限る。）に入学した者にあつては、本学研究科において、研究科における教育を受けるにふさわしい学力があると認めた者
- (10) 本研究科において、個別の入学資格審査により、大学（医学、歯学又は修業年限6年の獣医学、薬学を履修する課程を含むものに限る。）を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、令和8年3月31日までに24歳に達する者

外国人留学生特別選抜

上記(1)～(10)の出願資格のいずれかに該当する者で、外国の国籍を有する者のうち、出入国管理及び難民認定法において大学の入学に支障のない在留資格を有する者又は取得できる見込みの者

5. 出願資格認定

(1) 受付期間・認定方法及び結果通知

受 付 期 間	令和7年 7月7日（月） ～ 令和7年 7月11日（金）17時必着
結 果 通 知	令和7年 7月25日（金）

※持参の場合の受付は、8時30分から17時までとします。

前記「4. 出願資格」の(5)、(6)、(8)、(10)により出願する者は、事前に出願資格の審査を受け、出願資格を有することが認定された者のみ出願することができますので、医学部医療人育成課入試係（電話(0985)-85-8970）に問い合わせの上、次の書類を提出し、出願資格の認定を受けてください。

出願資格の認定結果は、提出書類に基づき審査し、上記の期日までに本人に通知します。

(2) 提出書類

ア. 出願資格(6)による者

提 出 書 類	摘 要
出願資格認定申請書	本研究科所定の様式
在学証明書	出身学校の長が作成したもの
成績証明書	出身学校の長が作成したもの
志望理由書	本研究科所定の様式
受験許可書(2)（在学している大学の学長又は学部長が発行するもの）	本研究科所定の様式

イ. 出願資格(5)、(8)、(10)による者

提 出 書 類	摘 要
出願資格認定申請書	本研究科所定の様式
最終学校の卒業（見込）又は修了（見込）証明書	出身学校の長が作成したもの
成績証明書	出身学校の長が作成したもの
研究内容証明書	本研究科所定の様式
志望理由書	本研究科所定の様式
業績調書（共著の論文、著書を含む。）	本研究科所定の様式

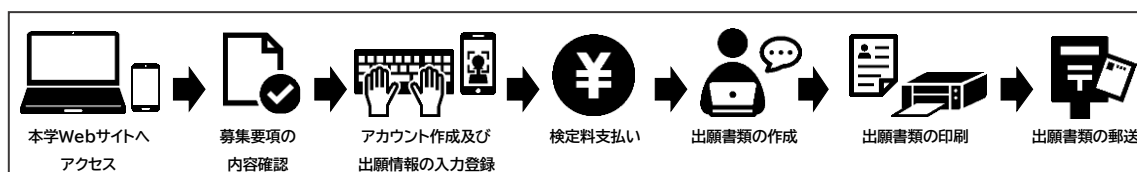
(3) 郵送の場合

「書留」又は「簡易書留」の郵便とし、封筒の表に「出願資格認定申請書類在中」と朱書きしてください。

6. 出願手続及び方法

本学の出願方法は、Web 出願のみとなっています。Web 出願システムで、出願情報を入力・登録し、検定料を支払う（以下、「Web 出願登録という。」）だけでは、出願完了とはなりません。出願期間内に「（３）提出書類」を窓口へ持参又は郵送（出願期間内に必着）し、内容に不備がなかった場合に出願完了となります。

(1) Web 出願の流れ



Web 出願システムへは、本学 Web サイト

<https://www.miyazaki-u.ac.jp/exam/graduate-exam/webapply.html>

からアクセスし、Web 出願登録を行ってください。

なお、システムについては PC からの操作を推奨します。



(2) 出願期間

令和 7 年 8 月 18 日（月）～令和 7 年 8 月 22 日（金）17 時必着

- ① 受付時間は、8 時 30 分から 17 時までとします。
- ② 郵送の場合 「書留」又は「簡易書留」の郵便で送付してください。
- ③ 持参の場合 宮崎大学医学部医療人育成課入試係（清武キャンパス）へ持参してください。

※Web 出願登録期間については令和 7 年 8 月 12 日（火）～8 月 22 日（金）17 時までとしており、事前に登録可能です。

(3) 提出書類

- ① Web 出願システムに入力し、印刷するもの（印字されている内容に誤りがないか確認してください。）

提出書類	摘 要
志願票	Web 出願登録及び入学検定料支払い後、A 4 用紙に印刷したもの。 <u>検定料支払い後は、登録内容を変更できませんので、支払い前に間違いがないか十分確認してください。</u>

② Web 出願システムにアップロードする必要があるもの

証明写真	志願者本人の顔写真のアップロードを行ってください。 （注）写真は、志願者本人と判別できるもので、カラー・上半身・無修正・無帽・正面向き・無背景・直近 3 か月以内に撮影した 100KB～5 MB サイズの jpg 又は png データを使用してください。
------	---

③ その他出願者が準備する必要提出書類

本学所定の様式は本学ホームページからダウンロードし、パソコンで作成し印刷するかまたは印刷したものに黒のボールペンで直接記入してください。

URL : <https://www.miyazaki-u.ac.jp/exam/graduate-exam/selection/izyu.html>

提出書類	摘要
入学志願票	本研究科所定の用紙に必要事項を記入してください。
志望理由書	- 本研究科所定の用紙に記入してください。 - 出願資格認定時に提出された場合は、必要ありません。
成績証明書	- 出身大学（学部）長が作成し厳封したもの。なお、大学院研究科修士課程修了（見込）者については研究科長が作成し、厳封したものを提出してください。 - 上記証明書が、日本語及び英語以外の場合は、日本語訳又は英語訳を添付してください。 - 出願資格認定時に提出された場合は、必要はありません。
卒業（見込）証明書 修了（見込）証明書	- 出身大学が作成したもの。 - 上記証明書が、日本語及び英語以外の場合は、日本語訳又は英語訳を添付してください。 - 出願資格認定時に提出された場合は、必要はありません。
推薦書等	外国人留学生特別選抜で出願する人は、外国政府、駐日外国公館の推薦書又は外務省、在外公館の紹介状あるいは現在所属している大学研究機関等の推薦状を提出してください。
パスポートの写し または 住民票の写し	本邦に在留している外国人で出願する人は、市区町村長の発行する住民票の写しを提出してください。
受験許可書（１） 受験許可書（２）	- 大学、大学院に在学中の人又は官公署、会社等に在職中の人、当該所属長の受験許可書（１）を、昼夜開講制を希望する人で在職のまま在学しようとする人は、受験許可書（２）を提出してください。（本研究科所定の様式） - 令和８年３月に（卒業・修了）見込の場合は必要ありません。

（注） 高度臨床医育成コース、高度獣医師育成コースによる出願者は、上記の出願書類の外に、下記書類を併せて提出してください。

免許証の写し	・ 医師、獣医師の免許証の写しをA4サイズに縮小して提出してください。 ・ 令和8年3月に卒業見込の場合は必要ありません。
--------	--

(4) 検定料の支払い

① 検定料 30,000 円

検定料に加えて、支払方法に応じたシステム利用料が必要です。クレジットカード決済は600円、コンビニ決済及びPay-easy 決済は300円です。

本学の指定する激甚災害により被災した志願者については、検定料免除の特別措置を希望することができます。以下の URL を参照し、該当する方は出願前に必ず本学学び・学生支援機構入試課(0985-58-7138)へ連絡してください。

※ 本学の修士から博士に進学する者は、検定料は不要です。

※ 激甚災害により被災した志願者の入学検定料の免除について
<https://www.miyazaki-u.ac.jp/exam/admission/nk-menjo.html>



② 支払方法

クレジットカード決済、コンビニ決済、Pay-easy 決済が利用できます。

(注1) 支払いが完了すると、出願情報の修正はできません。必ず支払い前に入力した情報（特に、志望コースや住所）に間違いがないかを確認してください。

(注2) 提出書類受理後は、いかなる理由があっても検定料の返還には応じることができません。

ただし、検定料の支払い後、出願しなかった場合は、返還手続きを行うことができますので、期限内に手続きを行ってください。なお、期限を過ぎてからの請求には一切応じることができません。

返還手続き方法は、以下の URL をから確認してください。

※ 入学検定料返還手続きについて
<https://www.miyazaki-u.ac.jp/exam/admission/nk-henkan.html>



※ 出願に際しての留意事項

- ① 黒のボールペンを使用し、省略しないで正確に記入してください。
- ② ※欄は記入しないでください。また、氏名及び生年月日は戸籍上のものを記入してください。
- ③ 出願書類等は一括して取りそろえ、出身大学長を経て提出するか、又は本人が直接提出してください。なお、書類不備のものは受け付けませんので、記入もれや誤記等がないように十分注意してください。
- ④ 出願に際しては、予め志望するコース（36～42頁）の各所属講座分野等の代表教員に照会してください。
- ⑤ 出願手続等について不明な点があるときは、本学医学部医療人育成課入試係に照会してください。
- ⑥ 出願書類の記載事項と事実が相違していることが判明した場合は、入学を取り消すことがあ

ります。

- ⑦ 出願書類の受付後、記入事項の変更及び書類の変更は認めません。また、いかなる理由があっても受付後の出願書類は返還しません。
- ⑧ 国費留学生は、国費外国人留学生証明書（出身大学が作成したもの）を提出してください。
- ⑨ 障がい等のある入学志願者については、49頁「障がい等のある入学志願者の事前相談」をご確認ください。
- ⑩ 出願書類を受理した後は、以下の場合を除き、振り込み済の検定料は返還いたしません。
 - 検定料を振り込んだが本学に出願しなかった（出願書類等を提出しなかった又は出願が受理されなかった）場合
 - 検定料を誤って二重に振り込んだ場合

(5) 出願手続き完了及び受験票の印刷

出願手続きが完了した者には、令和7年8月27日（水）以降に、Web 出願システムより受験票の印刷が可能になりますので、必ずWeb 出願システムにログインして受験票を確認し、A4判で印刷し、試験当日に必ず持参してください。受験票が確認できない場合は、本学医学部医療人育成課入試係（0985-85-8970）へ連絡してください。

7. 出願書類等提出先及び照会先

〒 889-1692 宮崎県宮崎市清武町木原5200
宮崎大学医学部医療人育成課入試係
電話 (0985) 85-8970 FAX (0985) 85-0693

8. 入学者選抜方法

(1) 一般選抜（社会人選抜を含む）

選考は、提出された書類審査及び口述試験により行います。

(2) 外国人留学生特別選抜

選考は、書類審査及び口述試験により行います。

※海外在住の志願者については、渡日前入試を実施します。口述試験の受験方法はインターネット等を利用した受験とします。

なお、この入試方法を希望する場合は、事前に希望する指導教員と十分に相談の上申し込みください。

(3) 学力検査等の実施期日

期 日	科 目 等	時 間	備 考
令和7年 9月11日（木）	口述試験	13:00～17:00	専門分野の基礎的知識等に関する質問を含む

※ 試験当日の集合時間は12時40分を予定していますが、志願者の人数によっては集合時間の変更になる可能性があります。

詳細については、後日メールにて案内します。

(4) 試験場

宮崎大学清武キャンパス

※試験場の詳細については、後日メールにて案内します。

9. 合格者の発表及び通知

(1) 合格発表

日 時 令和7年 10月10日（金） 午前10時

場 所 宮崎大学医学部講義実習棟玄関横掲示板

(2) 合格通知

合格者には合格通知書を送付します。電話による合否の問い合わせには応じません。

10. 入学手続

① 入 学 料 282,000円

② 授業料年額 535,800円（前期267,900円 後期267,900円）

○本学が指定した期間中に手続を行わなかった者は、入学辞退者として取扱います。

○入学料及び授業料は法令改正等により金額が変更になる場合があります。

○入学料は入学手続までに納入してください。

○納入された入学料は、次の場合を除き、いかなる理由があっても返還できません。

i. 入学料を払い込んだが、入学手続をしなかった場合

ii. 入学料を誤って二重に払い込んだ場合

※返還にかかる手数料は、原則、納入者の負担となります。

○在学中に授業料の改定が行われた場合は、改定時から新授業料が適用されます。

○長期履修生の授業料は、正規修業年限の授業料合計額を申請された履修年数で按分した額を年度毎に納入することになっています。

○授業料の納付は新学期開始後になります。

○授業料の納入は、預金口座からの「口座振替」とします。

前期の口座振替日は初年度は5月下旬頃、次年度以降は4月下旬頃の予定です。

後期の口座振替日は10月下旬頃の予定です。

<https://www.miyazaki-u.ac.jp/manabi-jim/campus-life-info/school-and-admissionfee/>

※ 本学の修士から博士に進学する者は、入学料は不要です。

③ 入学手続

- ・ 入学手続期間：10月下旬

(入学手続書類等の詳細は、メールにより通知します。)

医学獣医学専攻（博士課程）案内

1. 修業年限

標準修業年限は4年とする。ただし、極めて優れた業績を挙げた人にあつては、大学院設置基準第17条第1項ただし書きの規定により、3年以上の在学で足りるものとします。

2. 履修コース

(1) 高度臨床医育成コース

(Training course for physicians with professional skills)

「高度臨床医育成コース」は、高い倫理観を有する専門性の高い診断・治療技術に裏打ちされた高度な研究マインドを持った指導的臨床医の育成を目的としています。

このコースは、臨床と研究をバランスよく経験することにより、双方の能力を兼ね備えた高度臨床医を育成するもので、各医学専門学会での専門医認定資格を視野に入れた臨床技術の修得が可能となっています。

※ 臨床腫瘍医（がん専門医）養成プログラムによるがんプロフェッショナル養成コース

本学が指定する科目を履修し、治療の一般原理を理解した上で、実際に、臨床現場でがん患者を担当することで、がんの診断・治療、臨床研究に必要な知識、技術の修得が可能なコースを設けています。

(2) 高度獣医師育成コース

(Training course for veterinarians with professional skills)

「高度獣医師育成コース」は、獣医診療において、医学の診断・検査法、治療法、手術方法を学び、その手法を履修することで、専門性の高い診断・治療技術を修得し、高度な研究マインドを有する指導的獣医師の育成を目的としています。

このコースは、獣医診療に軸足をおいた他に類を見ない特色あるコースとなっています。

(3) 研究者育成コース

(Training course for researchers of medical and veterinary science)

「研究者育成コース」は、国際的に活躍できる医学・獣医学の教育研究を担う人材育成を目的としています。

このコースは、本研究科における大学院教育の中核をなすものであり、学修課題を複数の科目等を通して体系的に履修するコースワークにより、将来研究者・教育者として自立するために必要な医学・獣医学の両分野にまたがる幅広い専門知識と、研究に必要な実験のデザイン等の研究手法や研究遂行能力の修得が可能となっています。

3. 各所属講座分野等の主たる研究内容及び代表教員

(1) 高度臨床医育成コース

No.	所属講座分野等	主たる研究内容	代表教員
1	機能制御学講座循環動態生理学分野	循環生理学・分子細胞生理学に関する研究	渡 邊 望
2	内科学講座循環器・腎臓内科学分野	心腎連関症候群の発症病態に関する基礎・臨床研究	海 北 幸 一
3	内科学講座血液・糖尿病・内分泌内科学分野	消化器疾患、血液疾患、腫瘍疾患に関する臨床的研究	下 田 和 哉
4	内科学講座呼吸器・膠原病・感染症・脳神経内科学分野	呼吸器・膠原病・感染症・神経疾患の診断と治療に関する基礎的及び臨床的研究	宮 崎 泰 可
5	内科学講座消化器内科学分野	消化器疾患、主に胆膵疾患に関する臨床研究	河 上 洋
6	発達泌尿生殖医学講座小児科学分野	原因不明の難治性小児疾患の病態解明	盛 武 浩
7	外科学講座肝胆膵外科学分野	肝胆膵外科関連疾患の病態と治療に関する研究	七 島 篤 志
8	外科学講座心臓血管外科学分野	循環器疾患の病態および外科的治療に関する研究	古 川 貢 之
9	感覚運動医学講座整形外科学分野	関節および脊椎外傷・障害に関する研究	亀 井 直 輔
10	感覚運動医学講座皮膚科学分野		未 定 (※)
11	発達泌尿生殖医学講座泌尿器科学分野	各種泌尿器疾患の診療に関する研究	賀 本 敏 行
12	臨床神経科学講座脳神経外科学分野	脳腫瘍・脳血管障害に関する臨床的研究	沖 田 典 子
13	発達泌尿生殖医学講座産婦人科学分野	周産期医療に関する研究	桂 木 真 司
14	感覚運動医学講座眼科学分野	眼疾患に対するゲノム解析ならびに遺伝子治療に関する研究	池 田 康 博
15	感覚運動医学講座耳鼻咽喉・頭頸部外科学分野	耳鼻咽喉・頭頸部領域の臨床的研究	高 橋 邦 行
16	病態解析医学講座放射線医学分野	C T, M R I, P E Tを用いた先進的画像診断	東 美 菜 子
17	病態解析医学講座麻酔生体管理学分野	臨床麻酔、ショック患者管理、ペインクリニックに関する研究	恒 吉 勇 男
18	病態解析医学講座救急・災害医学分野	侵襲に対する生体反応の臨床的研究	落 合 秀 信
19	感覚運動医学講座顎顔面口腔外科学分野	顎口腔領域の機能回復を目的とした再建や再生医療に関する研究	山 下 善 弘

No.	所属講座分野等	主たる研究内容	代表教員
20	臨床神経科学講座精神医学分野	精神疾患のトランスレーショナルリサーチ	平野 羊 嗣
21	病理学講座構造機能病態学分野	循環器疾患の病理・病態に関する研究	山 下 篤
22	病理学講座腫瘍形態病態学分野	病理診断学・周産期病理学に関する研究	佐藤 勇 一 郎
23	がんセンター	消化器の腫瘍性疾患に関する臨床研究	細 川 歩
24	病理部		未定（※）
25	医療人育成推進センター	慢性糸球体腎炎の臨床病理学的解析に関する研究	小 松 弘 幸
26	リハビリテーション部	急性期リハビリテーション治療に関する研究	荒 川 英 樹

(2) 高度獣医師育成コース

No.	所属講座分野等	主たる研究内容	代表教員
27	獣医病理学	細菌、真菌ならびに原虫感染症の病理診断と病理発生に関する研究	平 井 卓 哉
28	産業動物衛生学	産業動物の細菌性疾患に関する研究	上 村 涼 子
29	獣医微生物学	家畜におけるウイルス感染症に関する研究	岡 林 環 樹
30	獣医微生物学	人獣共通感染症の分子ウイルス学に関する研究	齊 藤 暁
31	獣医公衆衛生学	人獣共通感染症の予防・制御に関する研究	山 崎 朗 子
32	獣医公衆衛生学	人獣共通感染症の予防・制御に関する研究	山 田 健 太 郎
33	獣医外科学		未定（※）
34	獣医内科学	動物における心エコー図の臨床的有用性の確立に関する研究	大 菅 辰 幸
35	産業動物内科学	反芻動物、周産期疾患、カルシウム代謝、酸化ストレス、臍部疾患の診断法・治療法に関する研究	佐藤 礼 一 郎
36	産業動物臨床繁殖学	動物の生殖器疾患および繁殖管理に関する研究	大 澤 健 司

No.	所属講座分野等	主たる研究内容	代表教員
37	産業動物臨床繁殖学	産業動物の繁殖機能における臨床評価に関する研究	北原 豪
38	獣医臨床放射線学	神経疾患に対するMRIを中心とした画像診断装置および脳脊髄液解析の臨床応用に関する研究	佐藤 裕之
39	獣医寄生虫病学	寄生虫症の血清疫学に関する研究	吉田 彩子
40	獣医寄生虫病学	寄生虫感染の分子診断法の開発と疫学研究への応用に関する研究	入江 隆夫
41	動物病院	獣医麻酔学および獣医眼科学に関する新規治療法の開発および臨床応用研究	永延 清和
42	産業動物伝染病防疫学		未定（※）
43	産業動物伝染病防疫学	重要家畜伝染病に対する効果的な防疫戦略の構築に関する研究	関口 敏
44	獣医解剖学	動物の比較免疫生物学に関する研究	保田 昌宏
45	獣医遺伝情報学	嗅覚関連遺伝子を中心とした多重遺伝子族とゲノム進化に関する研究	新村 芳人
46	産業動物防疫リサーチセンター	動物のウイルス性感染症に関する研究	目堅 博久

(3) 研究者育成コース

No.	所属講座分野等	主たる研究内容	代表教員
47	解剖学講座組織細胞化学分野	細胞増殖・分化・死制御機構の分子組織細胞化学的研究	菱川 善隆
48	解剖学講座超微形態科学分野	電子顕微鏡を活用した細胞の微細構造と機能に関する研究	澤口 朗
49	解剖学講座医学生物学分野		未定（※）
50	機能制御学講座統合生理学分野	高次脳神経機能—特に学習・記憶—における神経可塑性の分子機能に関する研究	高宮 考悟
51	機能制御学講座循環動態生理学分野	循環器疾患の病態生理に関する研究 細胞死・ガン・老化に関する分子生物学的研究	渡邊 望
52	機能制御学講座血管動態生化学分野		未定（※）

No.	所属講座分野等	主たる研究内容	代表教員
53	機能制御学講座機能生化学分野	タンパク質の機能とその破綻による疾患の分子メカニズムに関する研究	西 頭 英 起
54	機能制御学講座薬理学分野	細胞骨格による生体の恒常性維持機構	武 谷 立
55	機能制御学講座生命分子科学分野	化学的アプローチによるヒトテロメア構造・機能の解明、がん分子標的治療法の開発	徐 岩
56	機能制御学講座蛋白質機能学分野	蛋白質の立体構造を基盤とした生命化学研究	和 田 啓
57	フロンティア科学総合研究センター 生命科学研究支援部門 R I 分野	微生物におけるタンパク質輸送機序の解明	塩 田 拓 也
58	フロンティア科学総合研究センター 生命科学研究支援部門 生命機能解析分野	摂食およびエネルギー代謝調節系における分子メカニズムに関する研究	伊 達 紫
59	フロンティア科学総合研究センター 生命科学研究支援部門 生命機能解析分野		未 定 (※)
60	病理学講座構造機能病態学分野	循環器疾患の病理・病態に関する研究	山 下 篤
61	病理学講座腫瘍形態病態学分野	病理診断学・細胞診断学に関する研究	佐 藤 勇 一 郎
62	感染症学講座微生物学分野	プリオン病を中心としたタンパク異常凝集が引き起こす疾患群の構造学的・病理学的解析と診断・治療法開発に関する研究	新 竜 一 郎
63	感染症学講座寄生虫学分野	寄生虫病の診断法開発、ならびに寄生虫と宿主の相互作用に関する研究	丸 山 治 彦
64	感染症学講座免疫学分野	免疫応答における樹状細胞機能の役割に関する研究	佐 藤 克 明
65	社会医学講座公衆衛生学分野		未 定 (※)
66	社会医学講座法医学分野		未 定 (※)
67	内科学講座循環器・腎臓内科学分野	心腎連関症候群の発症病態に関する基礎・臨床研究	海 北 幸 一
68	内科学講座血液・糖尿病・内分泌内科学分野	血液病学、消化器内科学、腫瘍学に関する基礎研究	下 田 和 哉
69	内科学講座呼吸器・膠原病・感染症・脳神経内科学分野	呼吸器・膠原病・感染症・神経疾患の診断と治療に関する基礎的及び臨床的研究	宮 崎 泰 可
70	内科学講座消化器内科学分野	消化器疾患、主に胆膵疾患の病態の解明に関する研究	河 上 洋

No.	所属講座分野等	主たる研究内容	代表教員
71	外科学講座肝胆膵外科学分野	肝胆膵外科疾患の病態の解明に関する研究	七 島 篤 志
72	外科学講座心臓血管外科学分野	循環器疾患の病態および外科的治療に関する研究	古 川 貢 之
73	発達泌尿生殖医学講座泌尿器科学分野	泌尿器疾患の病因に関する研究。特に泌尿器腫瘍の進展、転移に関する研究	賀 本 敏 行
74	臨床神経科学講座脳神経外科学分野	脳腫瘍の局在診断と進展形態に関する研究	沖 田 典 子
75	発達泌尿生殖医学講座小児科学分野	原因不明の難治性小児疾患の責任遺伝子同定および機能解析	盛 武 浩
76	発達泌尿生殖医学講座産婦人科学分野	婦人科腫瘍に関する研究	桂 木 真 司
77	感覚運動医学講座整形外科学分野	運動器再生に関する研究	亀 井 直 輔
78	感覚運動医学講座皮膚科学分野		未 定（※）
79	感覚運動医学講座 耳鼻咽喉・頭頸部外科学分野	耳鼻咽喉・頭頸部領域の感覚病態に関する研究	高 橋 邦 行
80	感覚運動医学講座 顎顔面口腔外科学分野	顎口腔機能および顎口腔病態に関する研究	山 下 善 弘
81	病態解析医学講座放射線医学分野	C T, M R I, P E Tを用いた臨床画像診断	東 美 菜 子
82	病態解析医学講座麻酔生体管理学分野	麻酔、集中治療、疼痛機序に関する研究	恒 吉 勇 男
83	病態解析医学講座救急・災害医学分野	侵襲に対する生体反応の臨床的研究	落 合 秀 信
84	臨床神経科学講座精神医学分野	精神疾患のトランスレーショナルリサーチ	平 野 羊 嗣
85	感覚運動医学講座眼科学分野	網膜変性疾患における視細胞死の分子機構解明に関する研究	池 田 康 博
86	病理部		未 定（※）
87	薬剤部	医薬品の有効性・安全性に係る基礎的・臨床的研究	池 田 龍 二
88	フロンティア科学総合研究センター 生命科学研究支援部門生物資源分野	ヒトの病態を代替するモデル動物の開発と維持に関する研究	越 本 知 大
89	医療人育成推進センター	慢性糸球体腎炎の臨床病理学的解析に関する研究	小 松 弘 幸

No.	所属講座分野等	主たる研究内容	代表教員
90	獣医解剖学	動物の免疫器官の形態学に関する研究	保田昌宏
91	獣医生理学	生理活性ペプチドの探索と応用	井田隆徳
92	獣医生理学	動物の本能行動を司る生理活性ペプチドの探索と、その機能の解明	丸山圭介
93	フロンティア科学総合研究センター 生命科学研究支援部門		未定（※）
94	獣医薬理学	腎臓薬理学、生体内物質輸送学、あるいは動物の遺伝性疾患に関する研究	池田正浩
95	獣医薬理学	腎疾患の診断および治療薬の研究	園田紘子
96	獣医病理学	悪性腫瘍に発現する因子に関する研究	平井卓哉
97	産業動物衛生学	産業動物の細菌性疾患に関する研究	上村涼子
98	獣医微生物学	ウイルス性人獣共通感染症に関する研究	岡林環樹
99	獣医微生物学	人獣共通感染症の分子ウイルス学に関する研究	齊藤 暁
100	獣医公衆衛生学	感染症の分子病態学的研究	山崎 朗子
101	獣医公衆衛生学	感染症の分子病態学的研究	山田健太郎
102	獣医外科学		未定（※）
103	獣医内科学	動物における心エコー図の臨床的有用性の確立に関する研究	大菅 辰幸
104	産業動物内科学	反芻動物、周産期疾患、カルシウム代謝、酸化ストレス、臍部疾患の診断法・治療法に関する研究	佐藤礼一郎
105	産業動物臨床繁殖学	獣医周産期学に関する研究	大澤健司
106	産業動物臨床繁殖学	産業動物の繁殖内分泌制御に関する研究	北原 豪
107	獣医臨床放射線学	神経疾患に対する診断法および治療法の新規開発に関する研究	佐藤裕之

No.	所属講座分野等	主たる研究内容	代表教員
108	獣医寄生虫病学	寄生虫症の診断法開発、宿主－寄生虫相互作用の解析に関する研究	吉田彩子
109	獣医寄生虫病学	寄生虫感染の分子診断法の開発と疫学研究への応用に関する研究	入江隆夫
110	獣医機能生化学		未定（※）
111	動物病院		未定（※）
112	産業動物伝染病防疫学		未定（※）
113	産業動物伝染病防疫学	重要家畜伝染病に対する監視システムや防疫対策の開発に関する研究	関口敏
114	獣医遺伝情報学	嗅覚関連遺伝子を中心とした多重遺伝子族とゲノム進化に関する研究	新村芳人
115	フロンティア科学総合研究センター 先導研究推進部門 支援型研究者育成分野		未定（※）
116	産業動物防疫リサーチセンター	動物のウイルス性感染症に関する研究	目堅博久
117	リハビリテーション部	骨格筋が分泌するマイオカインに関する研究	荒川英樹

※代表教員が『未定』となっている分野を希望する場合は、事前に下記担当にご連絡ください。

宮崎大学医学部医療人育成課入試係

電話（0985）85-8970

4. 教育課程等の概要（医学獣医学総合研究科 医学獣医学専攻）

授 業 科 目		授業 年次	単位数		
			必修	選択	自由
研究 基盤 科目	基盤的研究方法特論（Ⅰ）	1	2		
	基盤的研究方法特論（Ⅱ）	1	2		
	基盤的研究方法特論（Ⅲ）	1	1		
	医学獣医学研究特論	1・2	1		
	サイエンスコミュニケーション 特論	1～3	2		
	先端の医学獣医学特論	1～3	2		
高度 臨床 医育 成 コ ー ス	科 研 目 究	研究特論 (高度臨床医育成コース)	1・2	2	
	特 別 研 究 科 目 (医 学 関 係)	臨床病態制御学演習・実習	1～4	4	
		血液・糖尿病・内分泌内科学の臨床実習	1～4	4	
		呼吸器・膠原病・感染症・脳神経内科学臨 床実習	1～4	4	
		感染症・膠原病学臨床実習	1～4	4	
		胆膵疾患診断学、治療学演習	1～4	4	
		小児疾患治療学演習	1～4	4	
		肝胆膵癌外科治療学演習	1～4	4	
		肝胆膵病態治療学演習	1～4	4	
		病態制御外科治療学演習	1～4	4	
		神経・運動器・脊椎臨床医学演習	1～4	4	
		皮膚疾患治療学演習・実習	1～4	4	
		泌尿器悪性腫瘍演習	1～4	4	
		泌尿器疾患病態生理演習	1～4	4	
		脳腫瘍治療学演習	1～4	4	
		脳血管疾患治療演習	1～4	4	
		周産期医学演習	1～4	4	

高度臨床医育成コース	特別研究科目（医学関係）	婦人科腫瘍、内分泌学演習	1～4		4	
		眼科学演習	1～4		4	
		神経耳科診断学演習	1～4		4	
		難聴治療学演習	1～4		4	
		臨床画像診断学演習	1～4		4	
		麻酔学演習	1～4		4	
		救命救急治療学演習	1～4		4	
		顎口腔機能病態学演習	1～4		4	
		病態精神医学演習	1～4		4	
		循環生理学演習	1～4		4	
		病理診断学演習	1～4		4	
		病理診断学・周産期病理学の演習	1～4		4	
		腫瘍病理学演習	1～4		4	
		糸球体性腎疾患解析演習	1～4		4	
		消化器悪性腫瘍演習	1～4		4	
	研究指導科目	論文作成特別研究 （高度臨床医育成コース）	1～4	6		
高度獣医師育成コース	研究科目	研究特論（高度獣医師育成コース）	1・2	2		
	特別研究科目（獣医学関係）	感染病理学演習	1～4		4	
		獣医分子病理学演習	1～4		4	
		細菌感染症学演習	1～4		4	
		獣医感染症制御学演習	1～4		4	
		食品衛生学演習	1～4		4	
		越境性動物感染症学演習	1～4		4	
		牛整形外科演習	1～4		4	
		獣医創傷治癒学演習	1～4		4	

高度獣医師育成コース	特別研究科目（獣医学関係）	獣医心エコー図学演習	1 ～ 4		4	
		産業動物内科学演習	1 ～ 4		4	
		獣医生殖工学演習	1 ～ 4		4	
		臨床放射線学演習	1 ～ 4		4	
		獣医画像応用学演習	1 ～ 4		4	
		獣医寄生虫病制御学演習	1 ～ 4		4	
		人獣共通寄生虫病公衆衛生学演習	1 ～ 4		4	
		獣医麻酔学特別演習	1 ～ 4		4	
		獣医防疫学演習	1 ～ 4		4	
		比較免疫生物学演習	1 ～ 4		4	
		獣医遺伝情報学演習	1 ～ 4		4	
	科目 研究指導	論文作成特別研究 (高度獣医師育成コース)	1 ～ 4	6		
研究者育成コース	科目 研究	研究特論(研究者育成コース)	1 ・ 2	2		
	特別研究科目（医学関係）	分子細胞生物学演習	1 ～ 4		4	
		超微形態学演習	1 ～ 4		4	
		分子神経科学演習	1 ～ 4		4	
		循環生理・分子生理学演習	1 ～ 4		4	
		生体制御解析学演習	1 ～ 4		4	
		生体システム制御学演習	1 ～ 4		4	
		細胞情報機能学演習	1 ～ 4		4	
		蛋白質構造学演習	1 ～ 4		4	
		病態医化学演習	1 ～ 4		4	
		循環病理学演習	1 ～ 4		4	
		病理診断学・細胞診断学の演習	1 ～ 4		4	
		腫瘍細胞生物学演習	1 ～ 4		4	

研究者育成コース	特別研究科目（医学関係）	病原・常在微生物学演習	1 ～ 4		4	
		寄生物学演習	1 ～ 4		4	
		公衆衛生学演習	1 ～ 4		4	
		環境保健学演習	1 ～ 4		4	
		先端医学研究倫理学演習	1 ～ 4		4	
		法医解剖診断学演習	1 ～ 4		4	
		病態制御学演習・実習	1 ～ 4		4	
		分子病態学演習	1 ～ 4		4	
		神経・呼吸器・内分泌代謝学演習	1 ～ 4		4	
		呼吸器・膠原病・感染症・脳神経内科学演習	1 ～ 4		4	
		ウイルス発癌病態解析学演習	1 ～ 4		4	
		病態制御消化器内科学演習	1 ～ 4		4	
		腫瘍機能制御外科学演習	1 ～ 4		4	
		病態制御外科学演習	1 ～ 4		4	
		悪性腫瘍泌尿器科学演習	1 ～ 4		4	
		神経腫瘍学演習	1 ～ 4		4	
		小児科学演習	1 ～ 4		4	
		周産期脳障害の発症と予防演習	1 ～ 4		4	
		神経・運動器・脊椎病態学演習	1 ～ 4		4	
		皮膚科学演習・実習	1 ～ 4		4	
		眼科トランスレーショナルリサーチ演習	1 ～ 4		4	
		聴覚生理・病態学演習	1 ～ 4		4	
		顎口腔再建外科学演習	1 ～ 4		4	
		画像診断学演習	1 ～ 4		4	
		血管平滑筋反応学演習	1 ～ 4		4	
		急性病態解析学演習	1 ～ 4		4	

研究者育成コース	特別研究科目（医学関係）	神経生理学演習	1 ～ 4		4	
		慢性糸球体腎炎解析演習	1 ～ 4		4	
		薬物動態学演習	1 ～ 4		4	
		実験動物学演習	1 ～ 4		4	
		分子生命化学演習	1 ～ 4		4	
		免疫生物学演習	1 ～ 4		4	
		生理活性ペプチド探索演習	1 ～ 4		4	
		蛋白質相互作用解析演習	1 ～ 4		4	
	特別研究科目（獣医学関係）	野生動物保護特別演習	1 ～ 4		4	
		動物神経生理学演習	1 ～ 4		4	
		分子内分泌生理学演習	1 ～ 4		4	
		生体内物質輸送学特別演習	1 ～ 4		4	
		獣医診断薬理学演習	1 ～ 4		4	
		比較病理学演習	1 ～ 4		4	
		獣医腫瘍病理学演習	1 ～ 4		4	
		産業動物衛生学演習	1 ～ 4		4	
		獣医感染病態学演習	1 ～ 4		4	
		人獣共通感染症学演習	1 ～ 4		4	
		食品微生物学演習	1 ～ 4		4	
		獣医循環器画像診断学演習	1 ～ 4		4	
		獣医心血管系腫瘍学演習	1 ～ 4		4	
		獣医心エコー図学演習	1 ～ 4		4	
		産業動物内科学特別演習	1 ～ 4		4	
		獣医繁殖内分泌学特別演習	1 ～ 4		4	
		放射線基礎獣医学特別演習	1 ～ 4		4	
	特	獣医神経疾患診断学特別演習	1 ～ 4		4	

研究者育成コース	別研究科目（獣医学関係）	獣医寄生虫免疫学演習	1～4		4	
		獣医寄生虫病疫学演習	1～4		4	
		獣医機能生化学演習	1～4		4	
		獣医伝染病学演習	1～4		4	
		獣医遺伝情報学演習	1～4		4	
	研究指導科目	論文作成特別研究（研究者育成コース）	1～4	6		
論文作成科目		論文作成演習（語学）	2～4			4

5. 履修方法及び学位授与

本研究科（高度臨床医育成コース、高度獣医師育成コース及び研究者育成コースとも）に、原則として4年以上在学し、指導教員の下、次に定める単位（30単位以上）を修得し、学位論文の審査及び最終試験に合格した人に、博士（医学）又は博士（獣医学）の学位を授与します。

- ・ 研究基盤科目（必修） 10単位
- ・ 特別研究科目（選択） 12単位以上
- ・ 研究科目（必修） 2単位
- ・ 研究指導科目（必須） 6単位

共通事項

1. 障がい等のある入学志願者の事前相談

障がい等があり、受験上及び修学上の配慮を必要とする者は、出願書類提出前に本学学び・学生支援機構入試課へご相談ください。相談内容によっては本学において事前の準備を必要とする場合がありますので、できるだけ早急にご相談ください。

次表に相談例を示しますので参考にしてください。ただし、この相談例に限定するものではありません。

①相談期限

相談期限は、出願開始日の3週間前までとします。

期限を過ぎている場合又は出願締切後に、不慮の事故等のため受験上・修学上の配慮を必要とされる場合については、早急に本学学び・学生支援機構入試課へ連絡してください。

②相談方法

本学のホームページから相談申請書をダウンロードして、次の内容を記載し、医師の診断書等を添えて提出してください。（郵送可）

- ア 志願者氏名・志望コース
- イ 障がい等の種類・程度
- ウ 受験上・修学上の配慮を希望する事項
- エ 出身学校でとられていた配慮事項
- オ 日常生活の状況
- カ 住所及び連絡先の電話番号

なお、必要な場合は、本学において志願者又はその立場を代弁し得る関係者との面談等を行うこともあります。

※相談申請書ダウンロード先：

<https://www.miyazaki-u.ac.jp/exam/admission/1789-2.html>

③相談先

〒889-2192	宮崎市学園木花台西1丁目1番地
	宮崎大学学び・学生支援機構入試課
電 話	0985-58-7138
F A X	0985-58-2865
	(土曜日・日曜日及び祝日を除く)

相談例	
①視覚障がい	拡大鏡等の使用によっても通常の文字、図形等の視覚による認識が不可能又は困難なもの
②聴覚障がい	補聴器等の使用によっても通常の話声を解することが不可能又は困難なもの
③肢体不自由	1. 肢体不自由により、筆記等日常生活における基本的な動作が不可能又は困難なもの 2. 肢体不自由により、常時の医学的観察指導を必要とするもの
④病弱	1. 慢性の呼吸器疾患、腎臓疾患及び神経疾患、悪性新生物その他の疾患により、医療又は生活規制を必要とするもの 2. 身体虚弱により、生活規制を必要とするもの
⑤発達障がい	自閉症、アスペルガー症候群、広汎性発達障がい、学習障がい、注意欠陥多動性障がい等のため配慮を必要とするもの
⑥その他	①～⑤以外の者で配慮を必要とするもの

2. 個人情報の取扱いについて

- (1) 個人情報については、「個人情報の保護に関する法律」及び「国立大学法人宮崎大学個人情報保護規則」に基づいて取り扱います。
- (2) 出願にあたってお知らせいただいた氏名、住所その他の個人情報については、①入学者選抜（出願処理、選抜実施）、②合格発表、③入学手続業務を行うために利用します。
- (3) 入学者選抜に用いた試験成績は、今後の入学者選抜方法の検討資料の作成のために利用します。
- (4) 上記（2）及び（3）の各種業務での利用に当たっては、一部の業務を本学より該当業務の委託を受けた業者において行うことがあります。
- (5) 出願にあたってお知らせいただいた個人情報は、入学者のみ①教務関係（学籍、修学指導等）、②学生支援関係（健康管理、就職支援、入学料免除、授業料免除、奨学金申請等）、③授業料徴収に関する業務を行うために利用します。

3. インターネットによる入試案内

本研究科では、インターネットを利用して入試情報を提供していますので、下記ホームページアドレスをご覧ください。

<https://www.miyazaki-u.ac.jp/ijudaigakuin/> 「医学獣医学総合研究科」

4. 入学料・授業料の免除及び徴収猶予

(1) 入学料免除

次のいずれかに該当する特別な事情により、納入が著しく困難であると認められる者は、本人の申請に基づき選考のうえ、入学料の全額又は半額を免除することがあります。

- ① 経済的理由により入学料の納入が困難であり、かつ学業優秀と認められる場合
- ② 入学前1年以内において、本人の学資を主として負担している者が死亡した場合
- ③ 入学前1年以内において、本人若しくは本人の学資を主として負担している者が風水害等の災害を受けた場合
- ④ ②③に準ずる場合であって、学長が相当と認める事由がある場合

(2) 入学料徴収猶予

次のいずれかに該当する場合は、本人の申請に基づき選考のうえ、入学料の徴収を猶予することがあります。

- ① 経済的理由により入学料の納入が困難であり、かつ学業優秀と認められる場合
- ② 入学前1年以内において、本人の学資を主として負担している者が死亡した場合
- ③ 入学前1年以内において、本人若しくは本人の学資を主として負担している者が風水害等の災害を受けた場合
- ④ ②③に準ずる場合であって、学長が相当と認める事由がある場合

(3) 授業料免除

次のいずれかに該当する人は、本人の申請に基づき選考のうえ、授業料の全額又は一部免除がなされることがあります。

なお、申請時期は大学の指定する日の前期・後期の年2回です。

- ① 経済的理由によって授業料の納入が困難であり、かつ学業優秀と認められる場合
- ② 入学前1年以内において、本人の学資を主として負担している者が死亡した場合
- ③ 入学前1年以内において、本人若しくは本人の学資を主として負担している者が風水害等の災害を受けた場合
- ④ ②③に準ずる場合であって、学長が相当と認める事由がある場合

本学学び・学生支援機構のホームページ（下記 URL）で確認してください。

URL:<https://www.miyazaki-u.ac.jp/manabi-jim/news/attention/campus-life-info/2024/10/20254-4.html>

5. 奨学金制度

日本学生支援機構の奨学金制度があり、選考によって貸与されます。貸与月額は次のとおりです。

第一種奨学生（無利子）	(修士課程相当) 50,000円・88,000円 (博士課程相当) 80,000円・122,000円
授業料後払い制度（無利子）	授業料支援金：535,800円（年額） 生活費奨学金：0円・20,000円・40,000円
第二種奨学生（有利子）	50,000円・80,000円・100,000円・130,000円・150,000円から選択

※ 地方公共団体及び民間団体等の奨学生制度もあります。奨学団体が直接募集するものは、団体へ直接問い合わせてください。大学を経由して募集するものは、その都度掲示およびHP（URL：<https://www.miyazaki-u.ac.jp/manabi-jim/campus-life-info/scholarship/>）にてお知らせします。掲示板等を確認のうえ、申請を希望する場合は、学生支援課経済支援係（0985-58-7140）まで連絡ください。

6. 在学中の保険制度

本学では、学生が安心して教育研究活動ができるように、学生教育研究災害傷害保険（略称「学研災」）及び学研災付帯賠償責任保険（略称「学研賠」「医学賠」）を取り扱っています。

「学研災」は、正課中、学校行事中、課外活動中及び学校施設内にいる間、並びに通学中に生じた急激かつ偶然な外来の事故により、加入者が身体に傷害を被った場合に災害補償する制度です。本学では、実験・実習などの教育活動を円滑に実施するため、加入されることをお勧めしています。

また、「学研賠」「医学賠」は、加入者が教育研究活動中に他人にケガを負わせた場合や、他人の財物を損壊したことにより被る法律上の損害賠償を補償する制度です。

これらの保険制度についての詳細と加入手続きについては、入学手続書類と併せて送付します。

7. 学生寄宿舍への入居

学生寄宿舍に入居を希望される人は、本学学生支援関係ホームページにて11月上旬公開予定の「学生寮（学生寄宿舍）」にて要項及び申請書類をダウンロードし、申請書類を提出期限までに提出してください。

URL：<https://www.miyazaki-u.ac.jp/manabi-jim/campus-life-info/dormitory/>

清武キャンパス

〒889-1692
宮崎県宮崎市清武町木原
5200番地

医学部

- ① 講義実習棟
- ② 総合教育研究棟
- ③ 福利施設
- ④ 基礎臨床研究棟
- ⑤ 附属図書館(医学分館)
- ⑥ 附属病院
- ⑦ 管理棟
- ⑧ フロンティア科学総合研究センター(RI清武分室)
- ⑨ フロンティア科学総合研究センター(生物資源分野)
- ⑩ 外来診療棟
- ⑪ ヘリポート(2カ所)
- ⑫ 看護師宿舎・清武ドミトリ
- ⑬ 宮崎大学医学部附属病院患者付添者等宿泊施設
「宮崎ドライビングスクールpresents THE CROSS ROADS」
- ⑭ 多用途型トリアージ施設



一般駐車場



身障者用
駐車場



身障者用駐車場
(屋根あり)



売店



食堂・カフェ



カフェ



ATM



公衆電話



タクシー
乗降場



教職員・
学生駐車場



バス停
(宮崎大学)

宮崎大学
ユニバーサルデザインマップ
QRコード



太陽光発電システム・
太陽熱給湯システム



医学部基礎臨床研究棟屋上



附属病院屋上



ソーラーカーポート

2024年4月1日現在

宮崎大学 位置図



【木花キャンパス】教育学部・工学部・農学部・地域資源創成学部
〒889-2192 宮崎県宮崎市学園木花台西1丁目1番地

【清武キャンパス】医学部
〒889-1692 宮崎県宮崎市清武町木原5200番地

宮崎大学までの交通機関

(JR南宮崎駅近く)	
宮交シティバスセンター	宮交バス「宮崎大学・大学病院行」に乗車 → 約25分
宮崎駅	宮交バス「宮崎大学・大学病院行」に乗車 → 木花方面経由 → 約40分
	→ まなび野方面経由 → 約37分
	→ 清武方面経由 → 約43分
宮崎港	宮交バス「宮交シティ行」 → 約30分 → 宮交バス「宮崎大学・大学病院行」に乗車 → 約25分
JR清武駅	(徒歩2分) JR清武駅前バス停 → 宮交バス「宮崎大学・大学病院行」に乗車 → 約15分 (徒歩5分) 清武総合支所前バス停 →
※バスで清武キャンパスへ向かう際は、『大学病院前』で下車してください。	
宮崎空港	タクシー 宮崎大学まで約8km → 約15分
宮崎自動車道・東九州自動車道	清武インターチェンジから → 約15分